

ぷらすいちあーと
〒542-0012 大阪市中央区谷町6-4-40
www.plus1art.jp ☎050-3402-6279(開廊日)

池田啓子
IKEDA Keiko

井上明彦
INOUE Akihiko

木原真男
KIHARA Masao

寺脇扶美
TERAWAKI Fumi

棚山 孝
TOCHIYAMA Takashi

東畠孝子
HIGASHIHATA Takako

松田 彰
MATSUDA Akira

山田幸作
YAMADA Kosaku

宮岡俊夫
MIYAOKA Toshio

元木昭治
MOTOKI Shoji

矢作隆一
YAHAGI Ryuichi

山本雄教
YAMAMOTO Yukyo

+ | art

12
の
メ
ッ
セ
ー
ジ
2016

年末チャリティ企画



+ | art



2016
12/1~18

Dozen 2016
Messages

地球 Earth テーマ

テーマ

12のメッセージ 地球 Earth

Dozen Messages 2016

2016 12/ **1** (木) - **18** (日)

AM 11:00 ~ PM 7:00 (最終日は PM 5:00まで)

休廊 月・火・水曜

本展は +1 art の年末チャリティ企画です。収益金の10%は途上国の女子教育を支援するマララ基金に寄付します。今年のテーマは「地球」。幅広いイメージをもつ「地球」をキーワードに、12人の作家による12の作品が +1 art に見たことのない「地球」空間をつくりだします。

12/ **3** (土) PM 5:00~

ギャラリートーク、音楽会 / 森下周央彌 (ギター)

地球で最も個体数の多い動物はプランクトンの種類らしい。地球の7割は海だから、当然といえば当然だが、自分が住んでいる星のことを我々はどれだけ知っているだろう。

美術作品を鑑賞するときにプランクトンのことを考える人はいないであろうが、この星の生態系はプランクトンなしには成り立たない。ということはプランクトンなしに美術作品も生まれえない、という言い方はできるかもしれない。

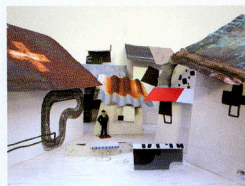
大小の生命がせめぎあい共生する、知っているようで、よく知らないことが多い星。12人の作家がそれぞれのイメージでつくりだした作品(メッセージ)は、住み慣れた地球の新たな側面を見せてくれる。

+1art カワラギ



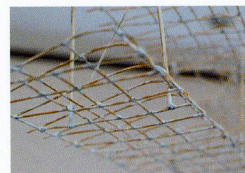
池田啓子

しなやかに移ろいゆく時の相に寄り添いながら場の背後にある自然の営みを感じ、有無な思考感覚に身を置き制作を続けたいと思っています。



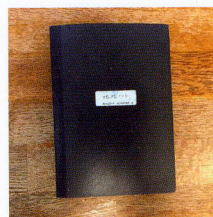
井上明彦

美術家。2006-07年文化庁新進芸術家在外研修でパリ滞在。最近の主な展覧会に「新シク開イタ地(2016、神戸アートビレッジセンター)」、「still moving」(2015、元崇仁小学校ほか、京都) など。



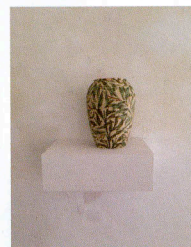
羽山 孝

1953生 大阪 男 造形作家「間」をテーマに様々な素材、方法を用いて表現を続けている。見ることはできなくてもイメージの中では確実に存在するものを感じてみたい。



木原真男

絵を描くときに私は、何かのイメージを再現することには興味がありません。イメージが私の意識に立ち上がる瞬間を捕まえられないかと企んでるわけです。



東島孝子

1984年大阪府出身。2008年京都市立芸術大学彫刻専攻卒業。2011年ヘリット・リートフェルトアカデミー(オランダ) 陶芸科卒業。現在信楽にて制作活動を行う。



寺脇扶美

1980年 愛知県生まれ。京都市在住。「写生・描くこと」「価値・視点・認識」を考察し、近年は主に日本画技法とエンボス加工を併用した平面作品を制作している。



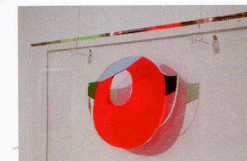
松田 彰

「言葉のように」存在する発言を願っての鉛筆のみの痕跡、呼吸です。人は伝達、思考する為、幾重にも言葉を重ねますが、あくまで内容そのものでなく、それは記号の集積であり連続体。その記号を基底とするイトナミです。



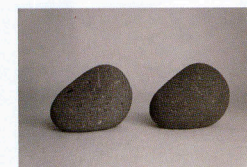
宮岡俊夫

東京の美大を出てから3年程前に京都に拠点を移して絵画制作をしています。今回、+1 アートさんのグループ展に参加するのを楽しみにしております。



元木昭治

1966年京都市立美術大学(現京都芸大) 西洋画科卒
◇現在の作品傾向:透明なアクリル板素材による作品
2004年 番画廊での個展(インスタレーション)から現在に至る。
◇最近の活動:個展(番画廊 '13)、姫路城ビエンナーレ展('16)、建築作品多数



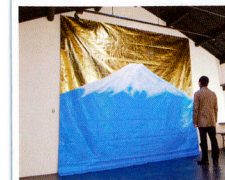
矢作隆一

金沢美術工芸大学卒業後、1995年よりメキシコ在住。現在ベラクルス州立大学造形美術研究所教授。辻調理師専門学校を卒業し調理師として働いていた経歴を持ち食をテーマとした作品やワークショップ等も行っている。



山田幸作

石をベースに、組み合わせで制作している。



山本雄教

1988年京都府出身 2010年成安造形大学日本画クラス卒業、2013年京都造形芸術大学大学院修士課程 修了。'14年 TERRADA ART AWARD 優秀賞、'13年美術新人賞デビュー準グランプリ、京都府美術工芸新鋭展公募部門大賞、他